

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。



ご注意

施工前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工・取扱を行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に則さない施工・取扱を行った場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

必ずお読みください

ウォールゼット ムーブ3

Wallzet MV3

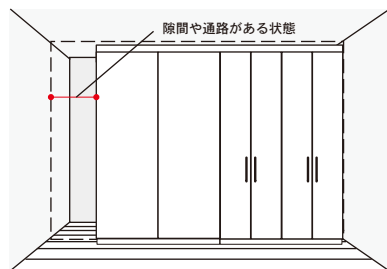
施工説明書

可動間仕切り収納

■ 施工業者様用 ■

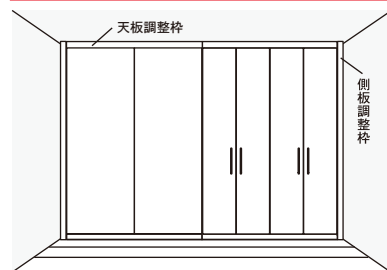
「ウォールゼットムーブ3」は2種類の置き方ができ、お部屋の間取りを変えられます。

「家具置き」ボックスユニットだけをタンスなどの家具のように設置



目次の ■ 部分のみお読みください。

「完全間仕切り」ボックスユニットと天井・壁の間を隙間なく調整枠で納めて設置



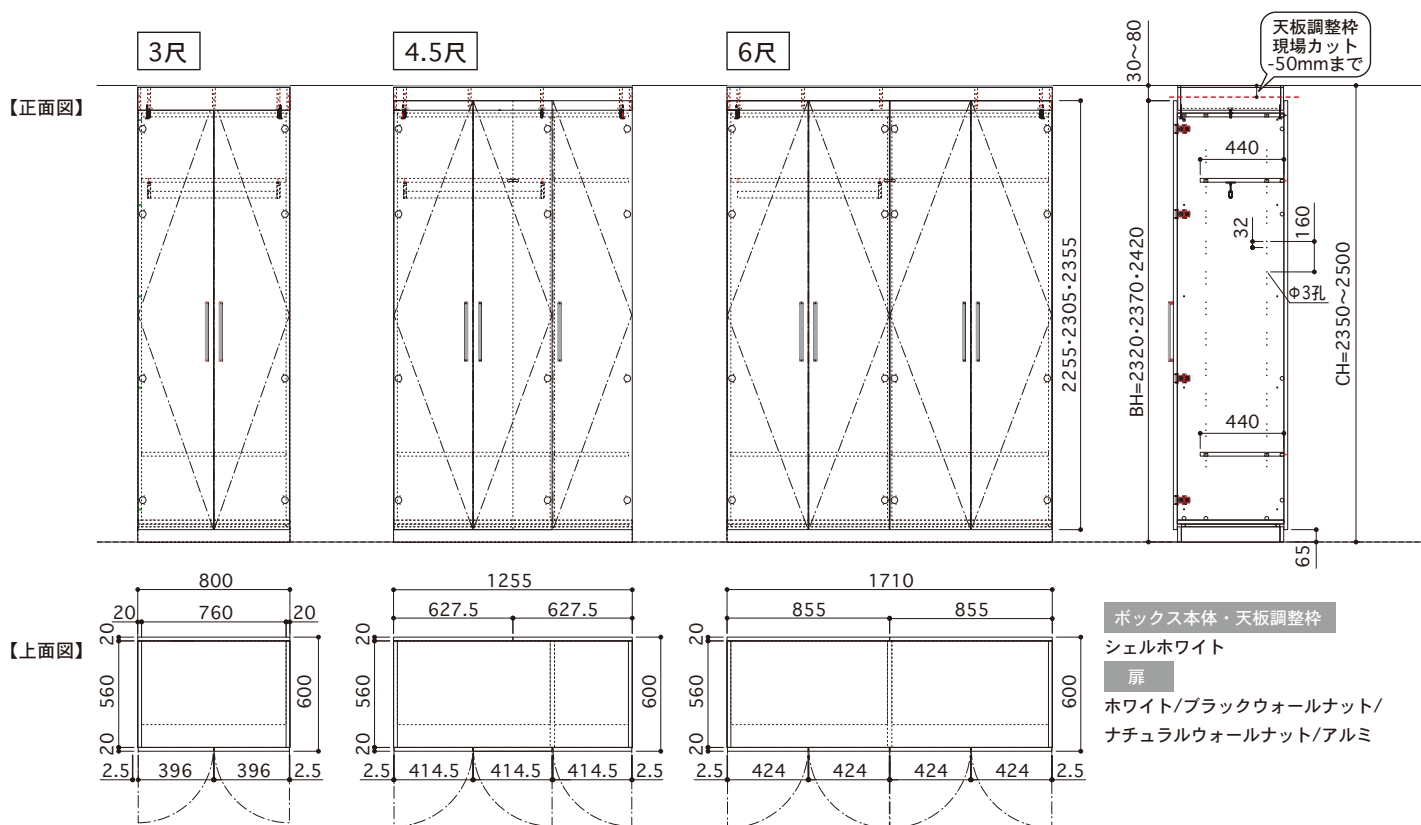
目次の ■ と ■ 部分の両方をお読みください。

目次

ボックスユニットについて	1
■ サイズバリエーション	1
■ 各部の名称	1
■ 調整枠の納まり	1
ボックスユニットの施工	2~8
■ 設置方法の種類	2
■ 設置場所の確認	2
■ 施工に必要な道具	2
■ ボックスユニット部材表	3
■ ボックスユニット金具表	4
■ ボックスユニットの組立て	5~9
金具類の取り付け	5
背板・側板の取り付け	6
天板・仕切板の取り付け	6
天板調整枠の取り付け	7
■ ボックスユニットの移動・固定	9
■ 扉の取り付け・位置の調節	10
側板調整枠の取り付け	11~16
■ 側板調整枠部材部品表	11
■ 側板調整枠K	12
■ 側板調整枠S	13~14
■ 側板調整枠M	15~16
オプション品の取り付け	17~18
■ 固定棚板	17
■ パイプ付棚板	17
■ 可動棚板	17
■ 引出しセット	17~18

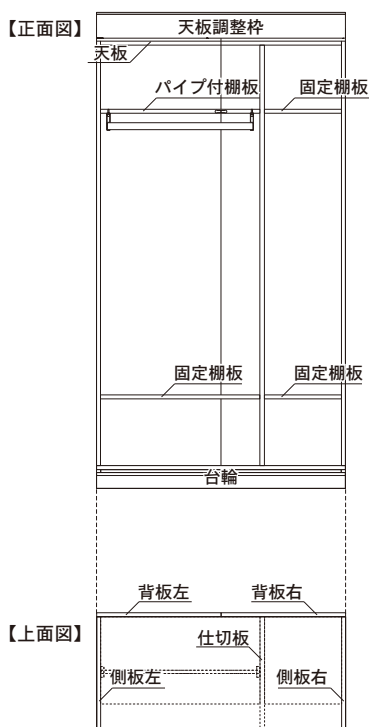
ボックスユニットについて

サイズバリエーション



各部の名称

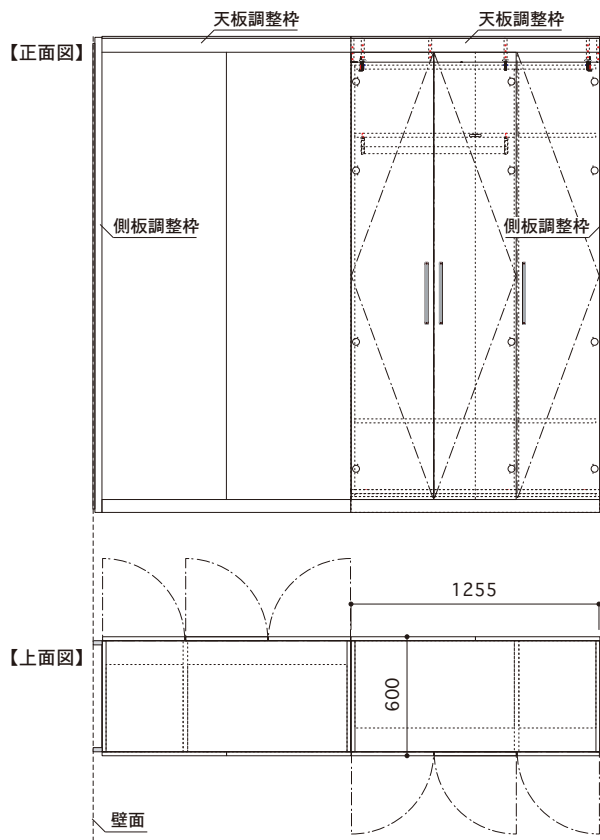
※図は4.5尺タイプを表示しています。



完全間仕切り
バージョン

調整枠の納まり

※図は4.5尺タイプを表示しています。

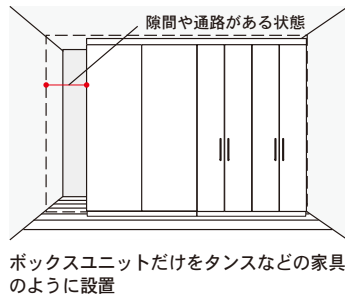


ボックスユニットの施工

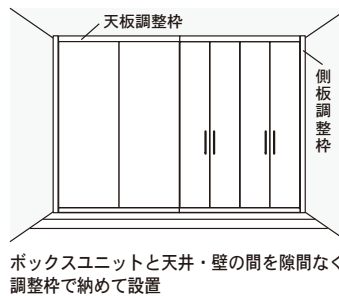
設置方法の種類

設置方法によって施工方法も異なります。事前にどちらの設置方法であるかご確認ください。

「家具置き」



「完全間仕切り」



ボックスユニットと天井・壁の間を隙間なく調整枠で納めて設置

設置場所の確認と注意事項

床

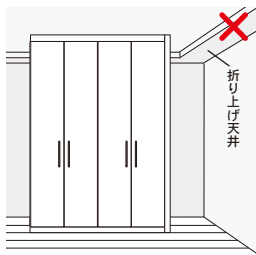
- 畳、カーペット、クッションフロアー、床暖房、遮音床の部屋には設置できません。
- キズやへこみに強い高耐傷性のフローリング材をご使用ください。(ボックスユニット移動時にキャスターにより床面をキズつけるおそれがあります。)

壁・天井

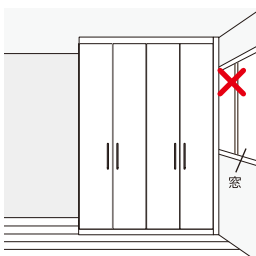
- 「完全間仕切り」にて設置する場合、調整枠によって壁、天井に集中荷重がかかります。厚さ9.5mm以上の石膏ボードを下地に使い、強度を高めてください。
- 以下のような部屋に「完全間仕切り」にて設置することはできません。(「家具置き」の場合のみ設置可能)



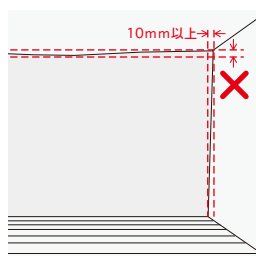
梁が間仕切り位置に対して直行している場合



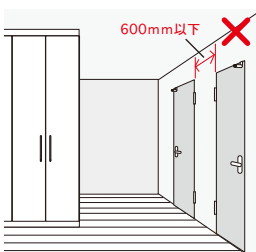
天井の形状が床面に平行且つフラットでない場合



間仕切り位置に窓や建具など開口がある場合



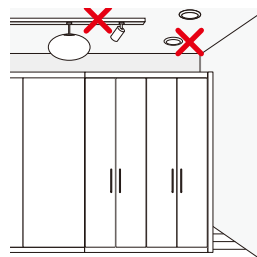
天井、壁の不陸や傾きが10mm以上ある場合



間仕切り位置の壁巾が600mm以下の場合
(ボックスユニットの奥行き600mm)

電気設備

- 照明器具、コンセント、スイッチボックス、火災報知器など電気設備は、ボックスユニット設置位置を考慮して設置計画を立ててください。
- 扉の開閉スペースや、ボックスユニット移動経路に妨げになるような照明は設置しないようあらかじめご注意ください。
- 白熱灯、ハロゲンランプ等熱を発する照明をボックスユニット近くに配置しないよう、ご注意ください。火災の原因となる可能性があります。



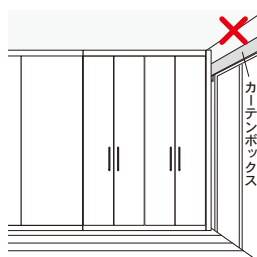
扉の開閉、進路の妨げになる、また発熱するおそれのある照明が近くにある。

空調設備

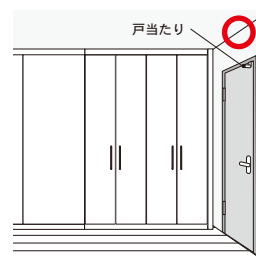
- エアコン、換気システムの配置とボックスユニットの設置位置が重ならないように考慮して配置計画を立ててください。
- エアコンの吹き出し口近くにボックスユニットを配置しないでください。劣化や故障の原因となります。

その他

- カーテンボックスの位置や建具の開き方向を事前に確認し、ボックスユニットの扉とぶつからないような配置にしてください。
- 建具がボックスユニットに当たる開きの場合、破損防止のため必ず戸当たりを取り付けてください。



ボックスユニットの扉がカーテンボックスにぶつかり開かない。



室内に入る扉を開けるとボックスユニットに当たるため、戸当たりを取り付ける。

施工に必要な工具

- 木工用ボンド (酢酸ビニール系接着剤)
- スケール
- カッター
- プラスチックハンマー
- ノコギリ
- プラスドライバー
- 両面テープ
- スパナ ※側板調整枠Mを施工する場合



ご注意

電動式ドライバーをアジャスターに対しては絶対に使用しないでください。ネジ山をつぶすおそれがあります。



ボックスユニット部材表

梱包内容（名称と入数）を確認してください。



入数はボックスユニット1セットに対する数を表記しています。

※図は4.5尺タイプの部材を表示しています。

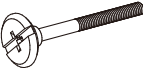
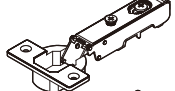
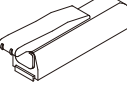
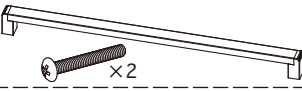
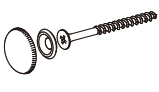
名称		寸法	入数		
			3尺	4.5尺	6尺
ボックスユニット本体	側板 	D・560 H・2140・2190・2240 T・20	④1 ⑤1	④1 ⑤1	④1 ⑤1
	仕切板 	D・559 H・2119・2169・2219 T・23	0	1	1
	背板 	W・3尺 800 4.5尺 ⑥627.5 ⑥627.5 6尺 ⑥855 ⑥855 H・2255・2305・2355 T・20	1	④1 ⑤1	④1 ⑤1
	天板 	W・3尺 758 4.5尺 1213 6尺 1668 D・559 T・20	1	1	1
	固定棚板 	W・3尺 758 4.5尺 ⑥802 ⑥387 6尺 822 D・440 T・20	1	④1 ⑤2	3
	パイプ付棚板 	L・3尺 688 4.5尺 732 6尺 752 ※固定棚板の寸法は上記をご参考ください。	1	④1	1
	扉 	W・3尺 396 4.5尺 414.5 6尺 424 H・2255・2305・2355 T・20	④1 ⑤1	④1 ⑤2	④2 ⑤2
	台輪ユニット 	W・3尺 800 4.5尺 1255 6尺 1710 D・560 H・115	1	1	1
天板調整枠	天板調整枠 1 	3尺 15×120×800 4.5尺 15×120×1255 6尺 15×120×1710	2	2	2
	天板調整枠 2 	15×120×527	2	2	2
	天板調整枠 3 	15×100×527	3	4	6
	クッション材 	10×15×1000	3	4	6
	フィラー材 (天板取り付け分) 	25×21×526	2	2	2
	クッション材 (天板取り付け分) 	15×20×1200	1	1	2

ボックスユニット金具表（金具箱の中に入っている部品です）

梱包内容（名称と入数）を確認してください。



入数はボックスユニット1セットに対する数を表記しています。
ボックスを連結する場合、ボックスユニット2セット分をまとめて梱包しておりますので、数にご注意ください。

名称			入数		
			3尺	4.5尺	6尺
ボックスユニット本体（金具）	ジョイント金具シャフト		35	56	60
	ジョイント金具キャップ		35	56	60
	側板用カバーキャップ		20	20	20
	台輪用カバーキャップ		4	6	8
	連結ボルト(キャップ付) (M3×35)		5	5	5
	連結ナット(キャップ付) (M3×12)		5	5	5
	戸当たり（シール）		4	6	8
	背板連結金具セット		0	1	1
扉（金具）	スライド丁番		8	12	16
	丁番座金 1.5mm		8	8	8
	丁番座金 9mm		0	4	8
	スライド丁番ダンパー		4	6	8
	丁番ビス (L=16)		16	24	32
	丁番座金ビス		16	24	32
	アルミ扉用丁番ビス (L=10) ※アルミタイプの場合のみ同梱		(16)	(24)	(32)
	扉取手セット		2	3	4
天板調整枠（金具）	鬼目ナットB		2	3	3
	アジャスターA		2	3	3
	ズレ防止ビスキャップセット (L=65)		2	2	2
	木ダボ (φ6×30)		4	4	4
施工業者様用「施工説明書」(本紙) お施主様用「施工・取扱説明書」			各 1	各 1	各 1

ボックスユニットの組立て

1 各ボックスユニットの部材に金具類を取り付けます。

●…ジョイント金具シャフト取付位置／●…天板調整枠金具(アジャスターA・鬼目ナットB)取付位置

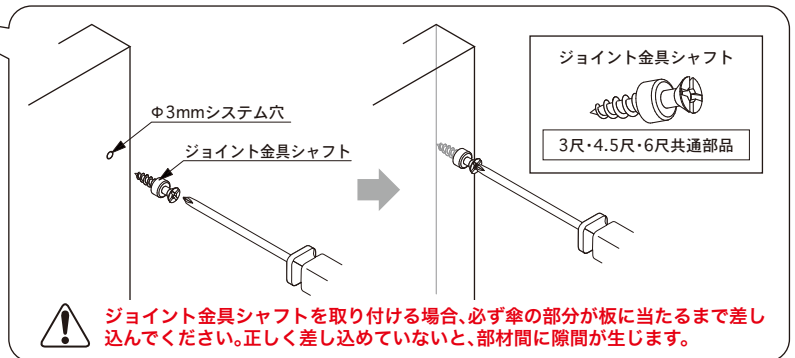
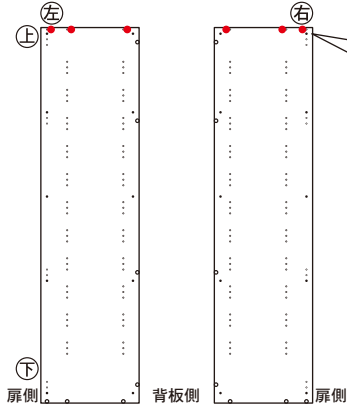
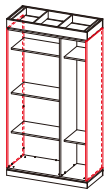
必要工具：プラスドライバー
プラスチックハンマー



・下記の各種金具、部材の取り付けは必ずボックスユニット組立前に行ってください。
・背板 側板 上下の見分け方…木口上面に「上」と表記

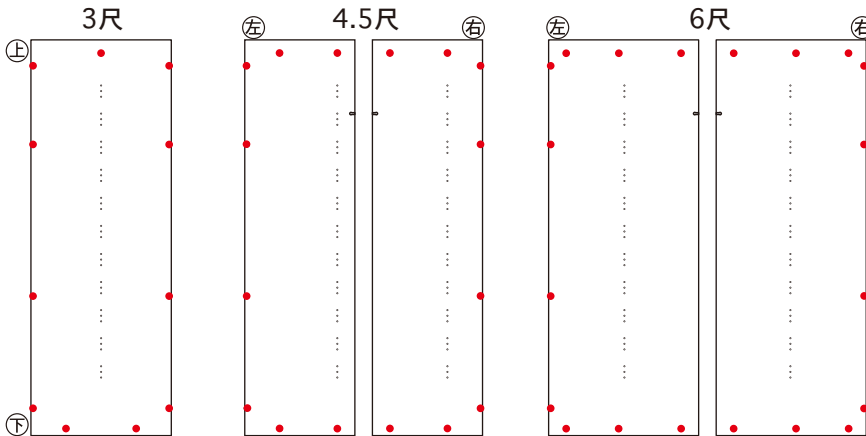
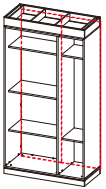
■ 側板

天板との接合部にジョイント金具シャフトを取り付けます。



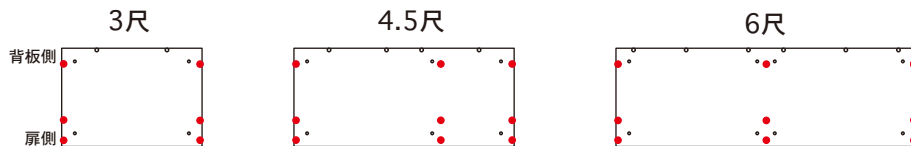
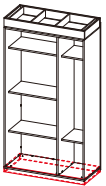
■ 背板

天板・側板との接合部、台輪との接合部にジョイント金具シャフトを取り付けます。



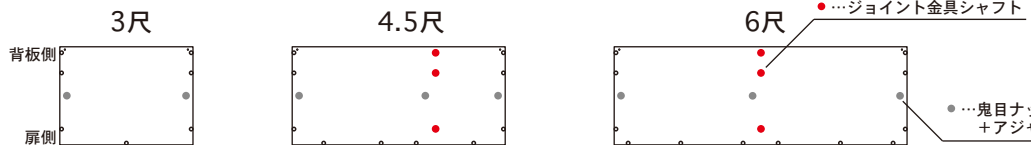
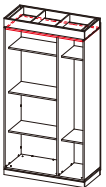
■ 台輪

側板・仕切板との接合部にジョイント金具シャフトを取り付けます。

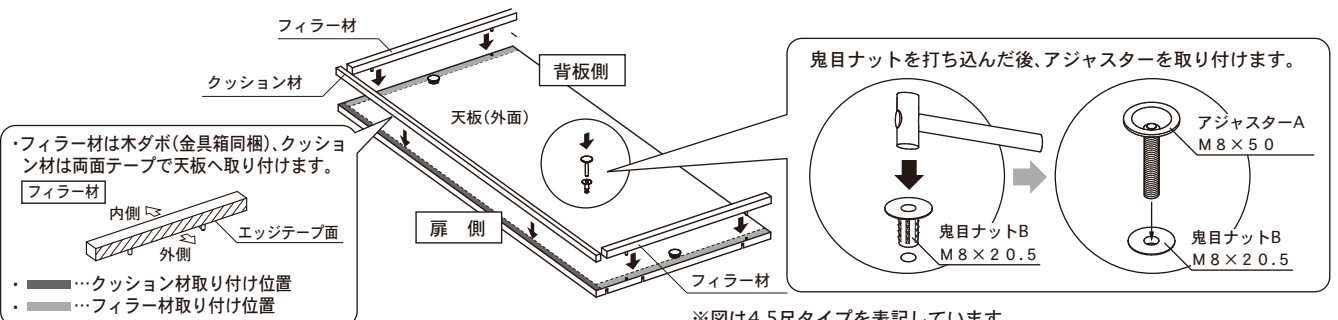


■ 天板

天板内面(仕切板との接合部)にジョイント金具シャフトを取り付けます。



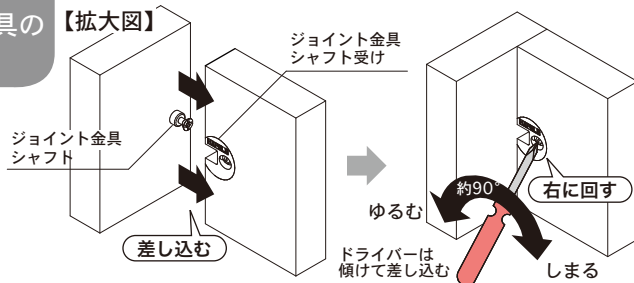
天板の外面にフィラー材、クッション材、鬼目ナットB、アジャスターAを取り付けます。(可動式タイプのみ)



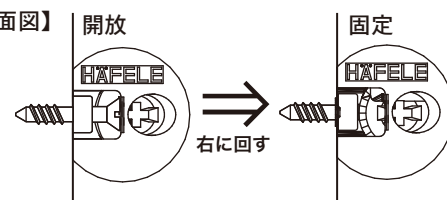
※図は4.5尺タイプを表記しています。

ジョイント金具の 取り付け方法

【拡大図】



【平面図】



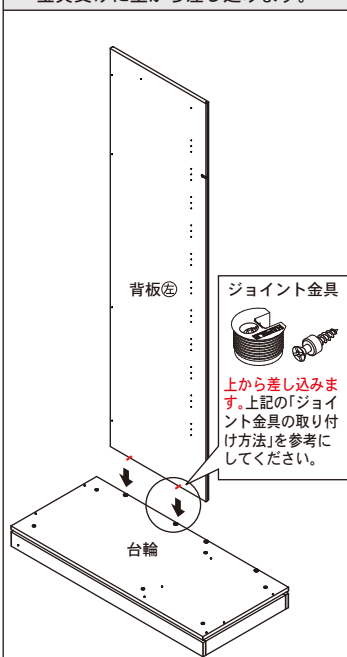
P5 1 で各部材に取り付けたジョイント金具シャフトを
ジョイント金具受け(出荷時取り付け済み)に差し込み、
その後、ドライバーで右に回すと固定されます。

2 背板・側板を台輪に取り付けます。

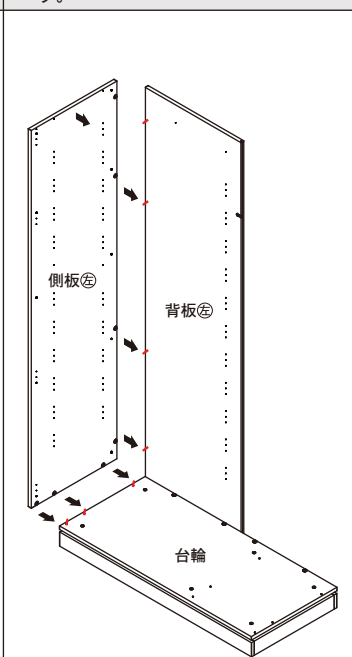
⚠ 組立前に部材の上下にご注意ください。(各板の上下部分切り口に「上」と表記)

必要工具：プラスドライバー、木工用ボンド（酢酸ビニール系接着剤）

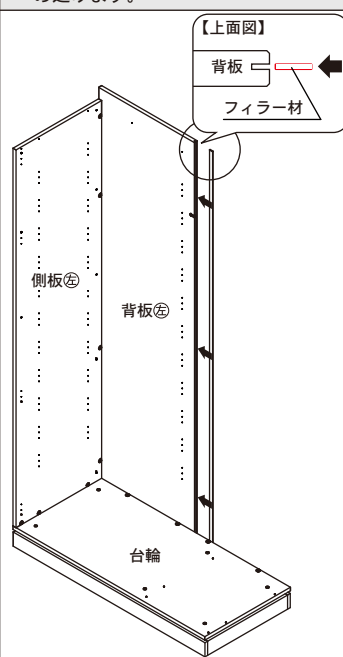
① 背板のシャフトを台輪のジョイント金具受けに上から差し込みます。



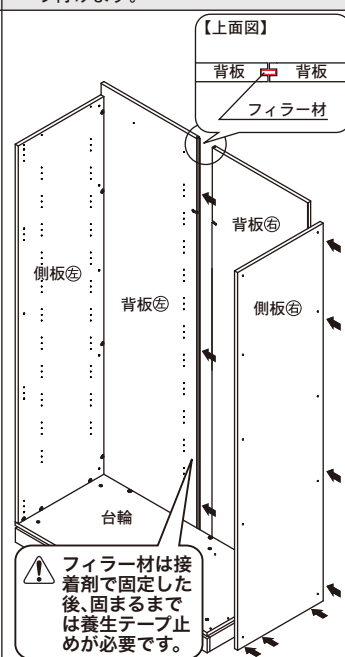
② 側板をジョイント金具で取り付けます。



③ 接着剤をつけてフィラー材を溝にはめ込みます。



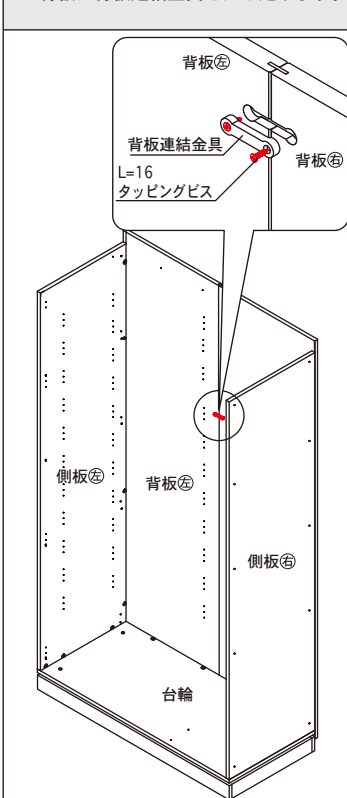
④ 同様に反対側の背板～側板の順で取り付けます。



3 天板・仕切板・固定棚板・ハンガーパイプを取り付けます。

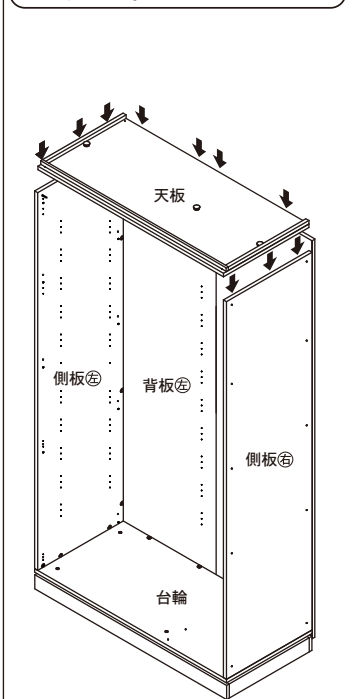
必要工具：プラスドライバー

① 背板に背板連結金具をはめ込みます。



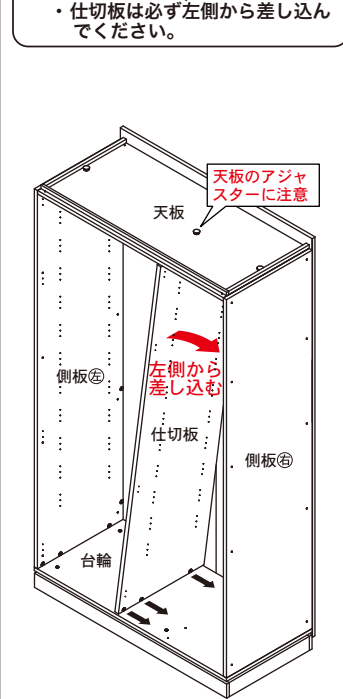
② 天板をジョイント金具で取り付けます。

⚠ 天板を取り付けるときに、天井にキズをつけないようにご注意ください。

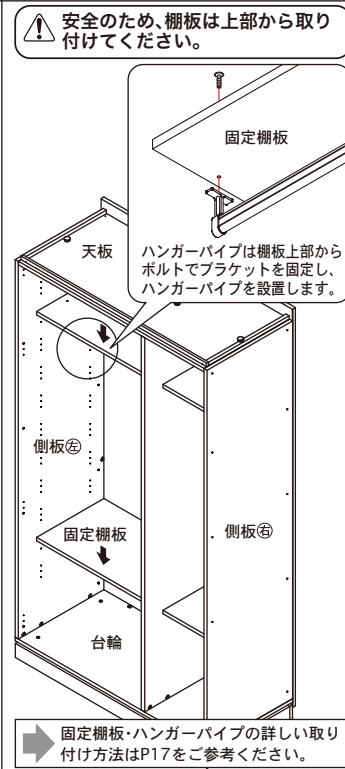


③ 仕切板をジョイント金具で取り付けます。

⚠ 仕切板の上下にご注意ください。(仕切板には木口上面に「上」と表示しています)
仕切板は必ず左側から差し込んでください。



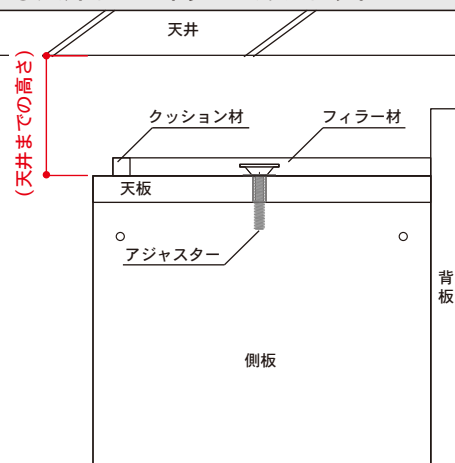
④ 棚板を取り付けたい位置にジョイント金具シャフトを取り付け、固定棚板を取り付けます。



4 天板調整枠を取り付けます。

必要工具：スケール、ノコギリ、木工用ボンド（酢酸ビニール系接着剤）、プラスドライバー

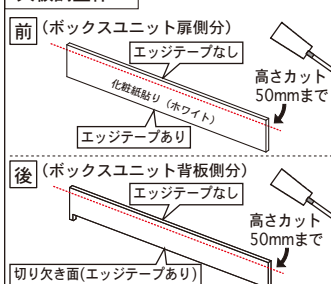
①天井までの高さを測ります。



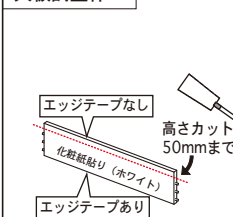
②部材を準備します。

現場カット 高さカット可能面を間違わないようにご注意ください。

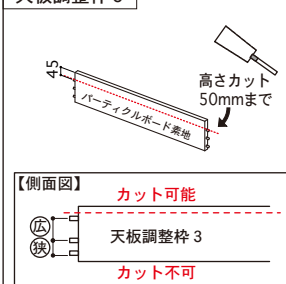
天板調整枠 1



天板調整枠 2



天板調整枠 3

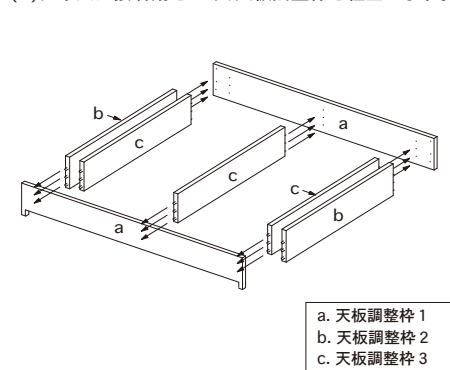


(天井までの高さ) -25mm になるようにカットします。
※エッジテープを貼っていない側をカットします。

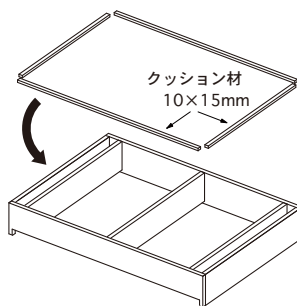
(天井までの高さ) -45mm になるようにカットします。
※ダボ穴間の寸法が広い面をカットします。

③天板調整枠を組立てます。

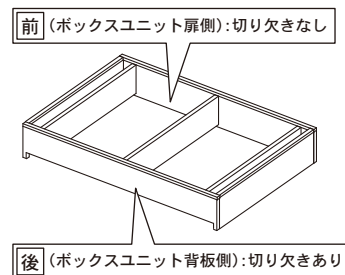
(1)ダボ穴に接着剤をつけ、天板調整枠を組立てます。



(2)天板調整枠上部(天井に接する面)にクッション材を貼り付けます。(両面テープが付いています。)



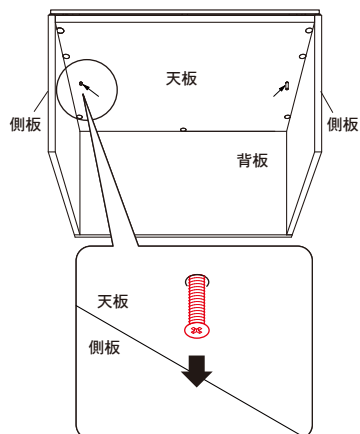
【完成図】



④ボックスユニットに天板調整枠を取り付けます。

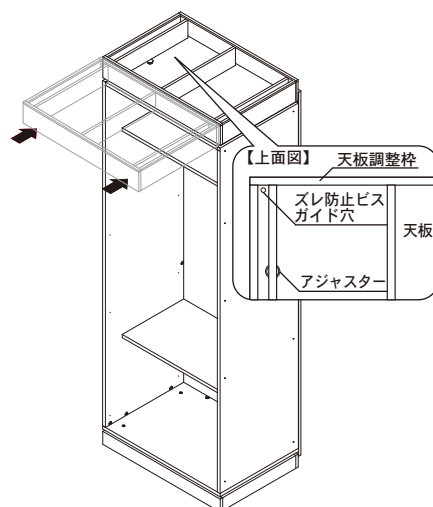
(1)ボックスユニット本体天板部分のアジャスターをドライバーを使って左に回し、一番低い位置に調整します。

天板調整枠昇降 アジャスター	
3 尺	2 箇所
4.5 尺	3 箇所
6 尺	3 箇所

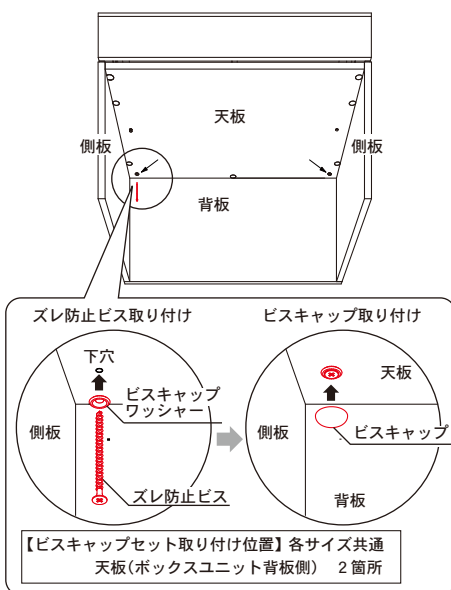


(2)ボックス上部へ、天板調整枠の切り欠き部分が天板のフィラー材にきちんとはまるよう、正面からのせます。

⚠ 天板調整枠をのせる際、天井にカドが当たらないようにご注意ください。



(3)天板調整枠のズレを防止する為、天板にズレ防止ビスを取り付けます。ズレ防止ビスにはビスキャップを取り付けます。

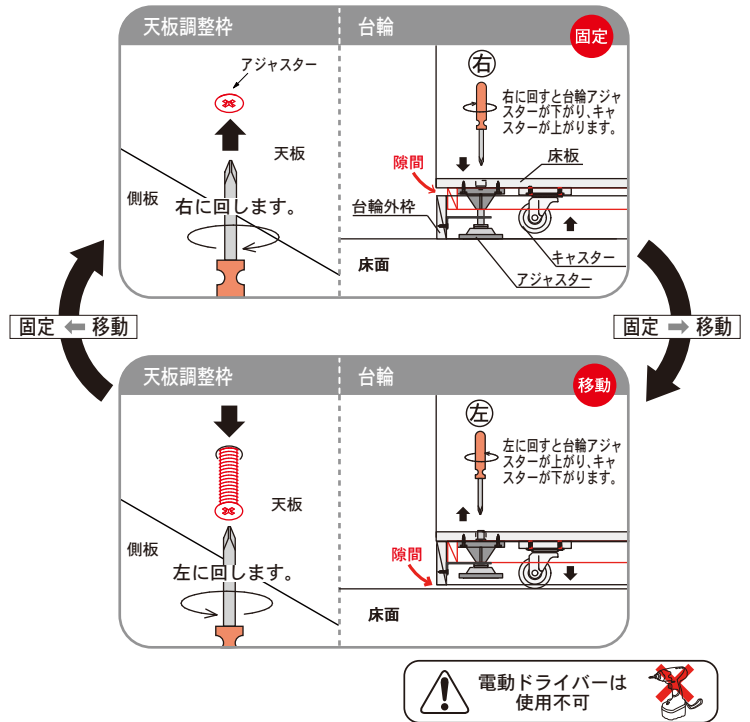
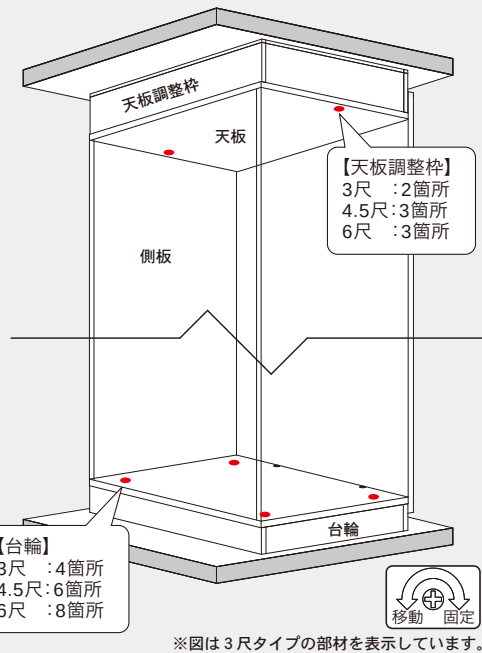


【ビスキャップセット取り付け位置】各サイズ共通
天板(ボックスユニット背板側) 2箇所

➡ P9からお読みください。

ボックスユニットの移動・固定

天板調整枠・台輪アジャスターの位置



固定 → 移動

- ① 天板調整枠
ボックス本体天板部分のアジャスターをドライバーを使って左に回し、一番低い位置に調整します。
- ② 台輪
台輪アジャスターをプラスドライバーを使って左に回し、キャスターを床面に着けます。(移動位置にセットすると、台輪と床面の間に隙間が空きます)

設置したい場所までボックスを押し移動します。

※キャスターの向きにより、はじめは動かしづらい場合があります。2、3度前後に押ししたり、引いたりしてキャスターの向きをそろえると動かし易くなります。

移動 → 固定

- ① 台輪
移動後、台輪アジャスターをプラスドライバーを使って右に回し、キャスターを床面から上げ、アジャスターで固定します。(固定位置にセットすると、台輪とボックスユニット床板の間に隙間が空きます)
※この時、部分的にアジャスターを下げ過ぎないようにしてください。
アジャスターが床に着いて圧を感じてから5～6回転が目安です。回し過ぎると「抜け落ち」の可能性もあります。
- ② 天板調整枠
ボックス本体天板部分のアジャスターをドライバーを使って右に回し、天板調整枠が天井につき、固定されるまで上げていきます。
※天板調整枠はアジャスターが圧を感じてからクッション材が軽くつぶれるぐらいの範囲が目安です。回し過ぎると本体や天井を傷つける可能性があります。

5 ボックスユニットを設置位置まで移動します。

※移動の方法は上記の「ボックスユニットの移動・固定」をご参考ください。

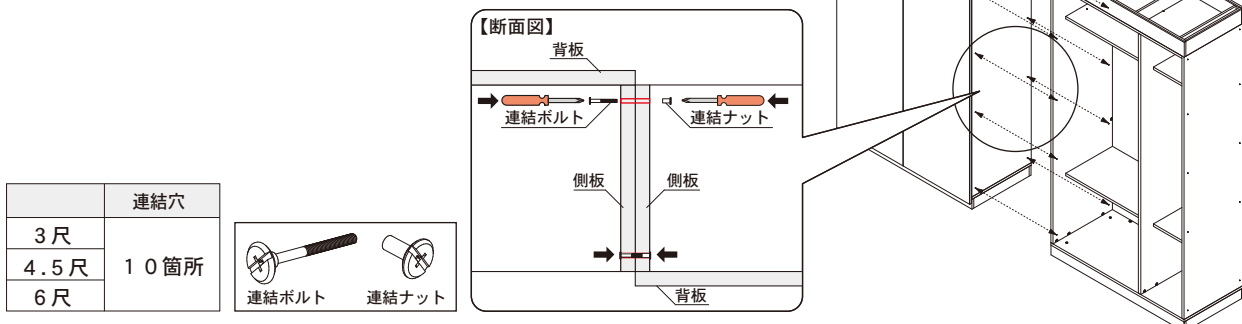
必要工具：プラスドライバー

6 ボックスユニットを連結し、正しい位置にセットします。

連結ボルトと連結ナットを両側からプラスドライバーで固定し、右に回して締め、正しい位置にセットします。(ボルトとナットは両側から締めます)

※背板面と扉面を向けた状態で連結するため2人で施工する必要があります。

必要工具：プラスドライバー 2本



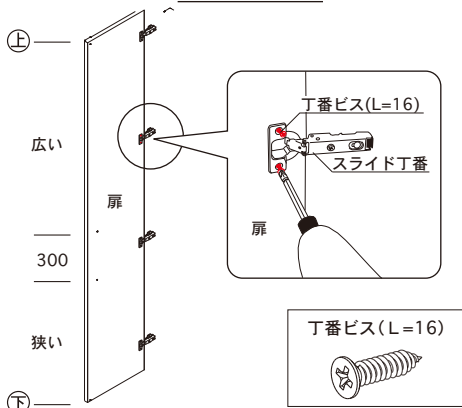
7 ボックスユニットを固定します。

※移動の方法は上記の「ボックスユニットの移動・固定」をご参考ください。

必要工具：プラスドライバー

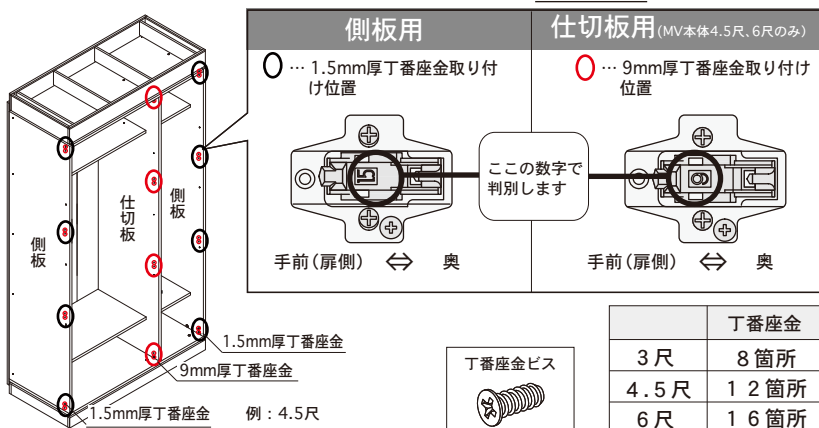
①スライド丁番を扉に取り付けます。

スライド丁番を扉に丁番ビス(L=16)で取り付けます。



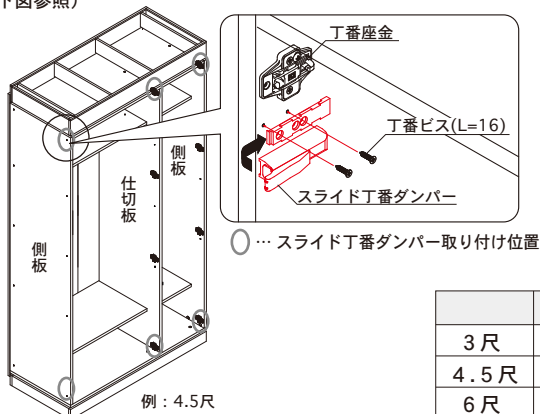
②ボックスユニットに丁番座金を取り付けます。

側板へ1.5mm厚丁番座金、仕切板へ9mm厚丁番座金をそれぞれ丁番座金ビスで取り付けます。



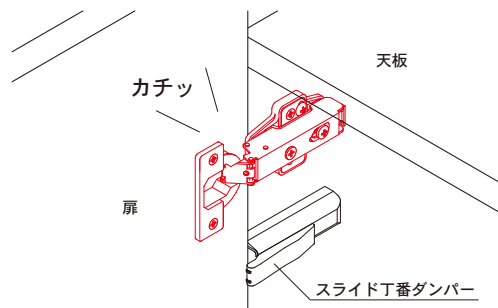
③ボックスユニットにスライド丁番ダンパーを取り付けます。

スライド丁番ダンパーを側板・仕切板に丁番ビス(L=16)で取り付けます。(下図参照)



④スライド丁番を丁番座金にはめ込みます。

正しくはめ込むとカチッと音がします。



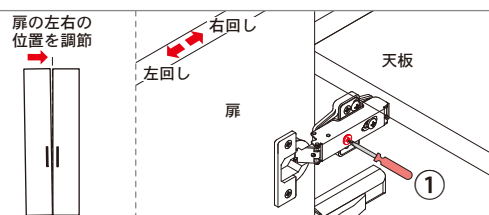
⚠ 丁番座金は2種類ありますので、間違わないようにご注意ください。
・丁番座金はビス穴がある方が手前(扉側)になります。逆に取り付けると扉をつけることが出来ません。

⑤扉の位置を調整します。

すべての扉を取り付けてから、扉の開閉がしやすいように位置の調整をおこなってください。

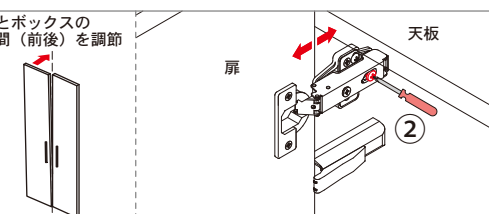
(1) 扉の左右の位置を調節

右図①に示すネジを右に回すと扉が(正面から見て)左に移動し、ネジを左に回すと右に移動します。



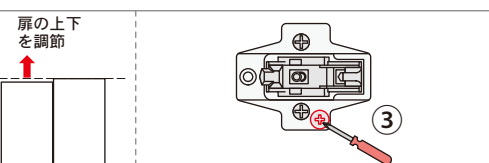
(2) 扉とボックスの隙間を調節

右図②に示すネジをゆるめ扉を前後に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。

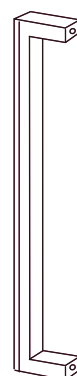


(3) 扉の上下を調節

右図③に示すネジ(丁番座金にあります)をゆるめ扉を上下に動かして調節し、ネジを締め直して固定してください。



⑥扉に取手を取り付けます。



開戸裏面



完成

建て付けに不備がないかももう一度製品全体に目を通してください。予備ビス、レンチ、施工業者様用「施工説明書」、お施主様用「施工・取扱説明書」をお施主様に必ずお渡しください。

側板調整枠の取り付け

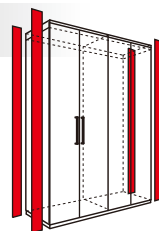
部材部品表

梱包内容（名称と入数）を確認してください。



入数はボックスユニット1セットに対する数を表記しています。
ボックスユニットの幅サイズ(3尺/4.5尺/6尺)による寸法の違いはありません。

4箇所分
1セット



■ 側板調整枠 K

名称・寸法	入数
フィラー材 K-1 4.7×38×2500 	4
フィラー材 K-2 19×98.5×2500 	4
ビスキャップセット (L=41) 	20

■ 側板調整枠 M

名称・寸法	入数
側板調整枠 M 1 35×21×2420 	4
側板調整枠 M 2 38×21×2520 	4
側板調整枠 M 3 25×10×2420 	4
側板調整枠 M 4 185×18×2420 	4
フィラー材 M 2.5×240×2570 	4
フィラー受 12.5×34×2450 	4
フィラーキャップ 5×15×2520 	4
鬼目ナット (側板調整枠 M 4 に取付済み) 	12
アジャスター B M8×50 	12
ビスキャップセット (L=41) 	20
ビス (L=41) 	20
ビス (L=30) 	20

■ 側板調整枠 S

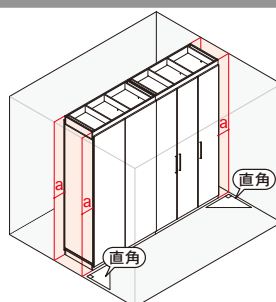
名称・寸法	入数
側板調整枠 S 38×26×2520 	4
フィラー材 S 2.5×95×2570 	4
フィラー受 12.5×34×2450 	4
フィラーキャップ 5×15×2520 	4
アジャストボルト 	20
アジャストナット 50×80×18 	20

側板調整枠 取り付け前作業

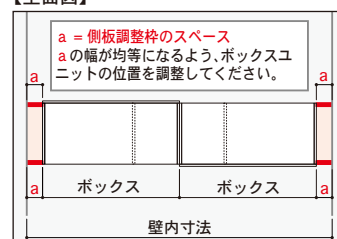
ボックスユニットを設置したい場所に移動し、壁面に対して直角を取り、部屋
の中心から均等の幅に置きます。

※左右均等に割り付けを行わないと、納まりが悪くなり、隙間等の原因とな
ります。

※移動の方法は P 9 の **ボックスユニットの移動・固定** をご参照ください。



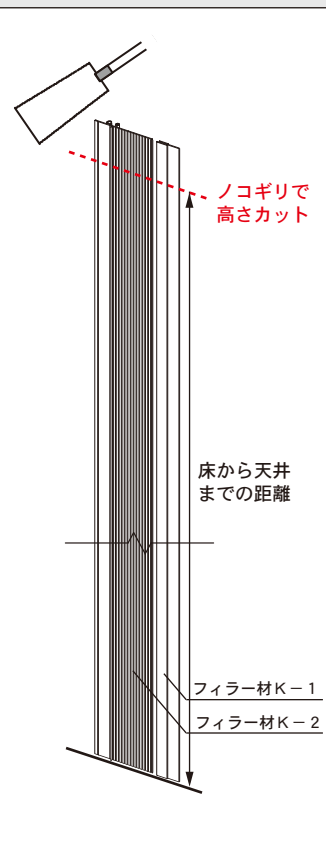
【上面図】



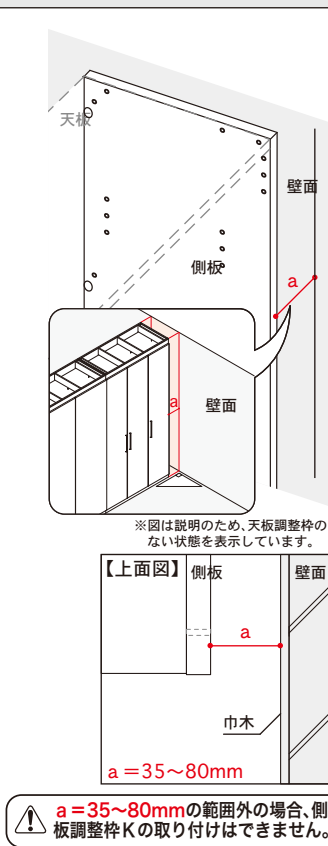
側板調整枠Kの取り付け

必要工具： カッター、プラスドライバー

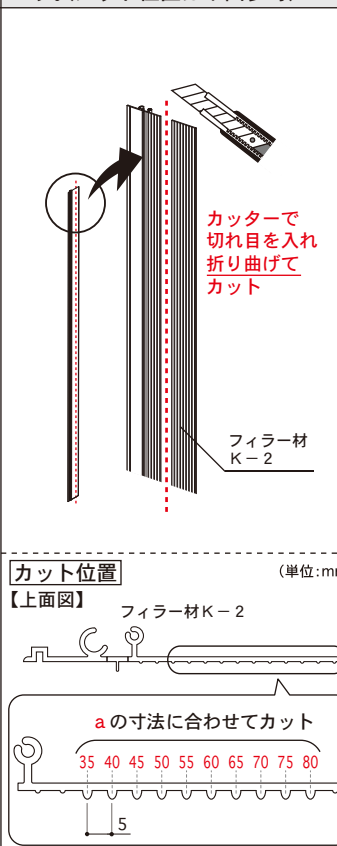
①天井高さにあわせて、フィラー材K-1/K-2をカットします。



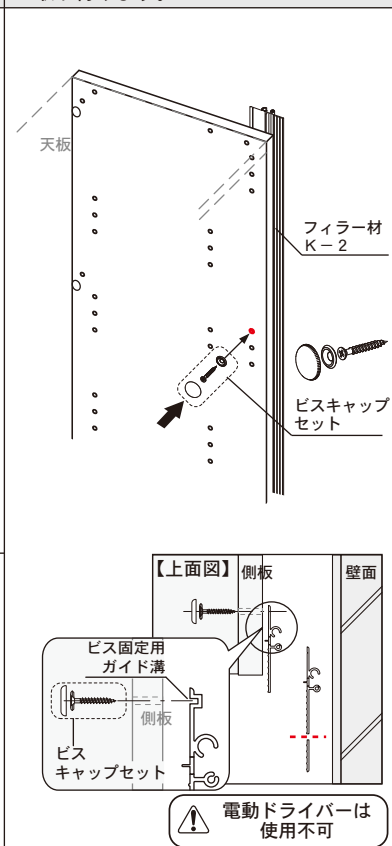
②側板から壁面までの距離(a)を測ります。



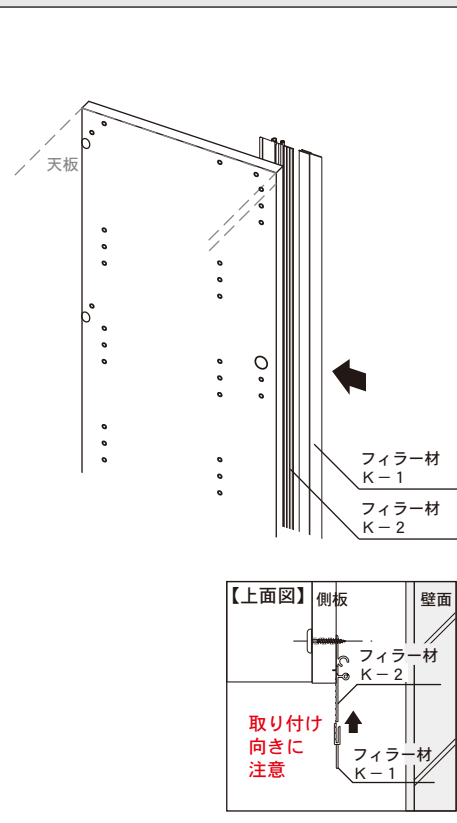
③②で測ったaの寸法に合わせてフィラー材K-2をカットします。(カット位置は下図参考)



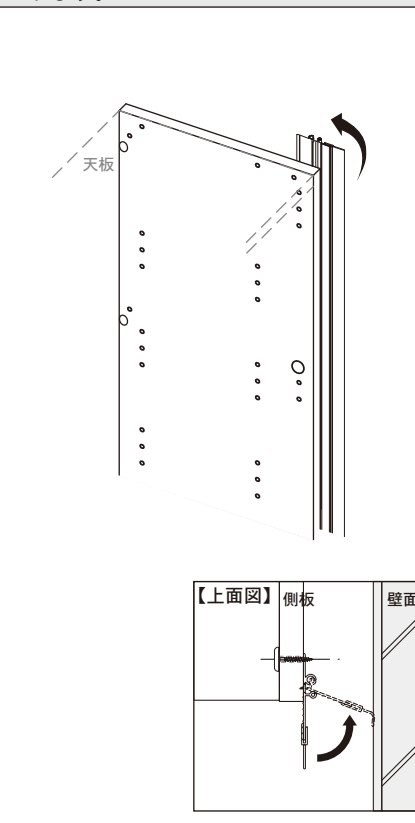
④側板内側から付属のビス(L=41)でフィラー材K-2を固定し、ビスキャップを取り付けます。



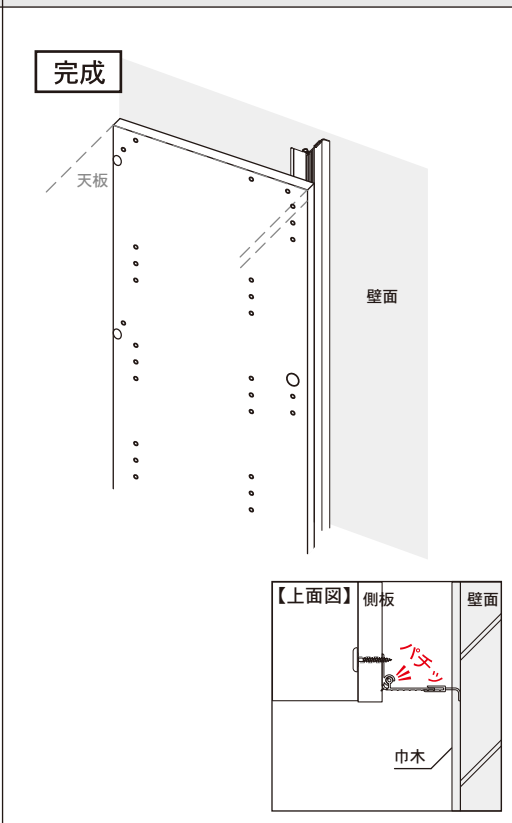
⑤フィラー材K-1をフィラー材K-2に取り付けます。



⑥フィラー材K-2をロック位置まで折りたたみ、回り縁、巾木部分に切り込みを入れます。



⑦フィラー材K-2を完全にはめ込み、完成です。



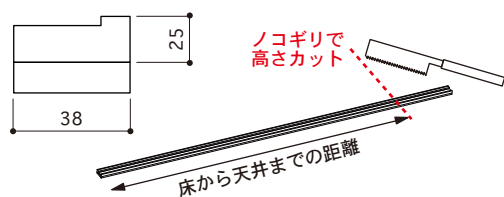
側板調整枠Sの取り付け

必要工具：ノコギリ、カッター、プラスドライバー

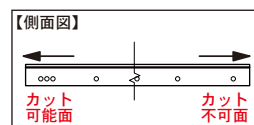
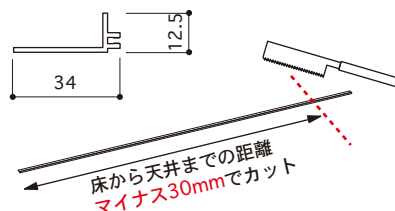
①それぞれの部材を天井の高さにあわせてカットします。

※床から天井までの高さが2450mm以下の場合のみ、上側をカットします。

側板調整枠S
38×26×2520

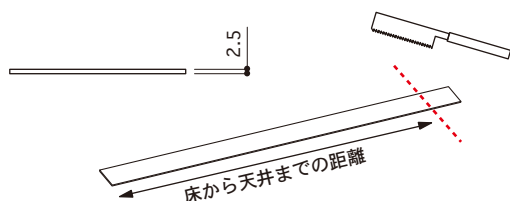


フィラー受
12.5×34×2450



⚠ フィラー受は上下左右確認の上、カットしてください。

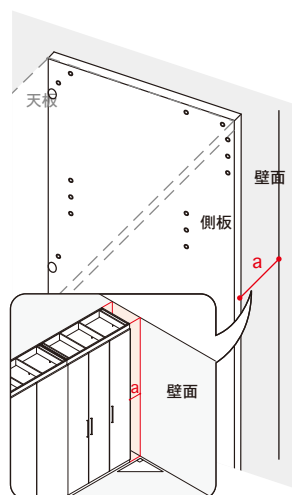
フィラー材S
2.5×95×2570



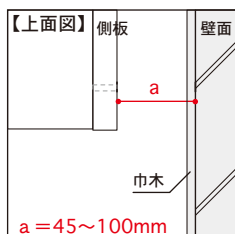
フィラーキャップ
5×15×2520



②側板から壁面までの距離(a)を測ります。

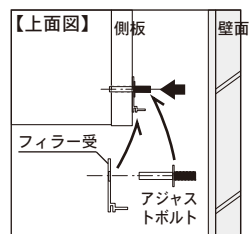
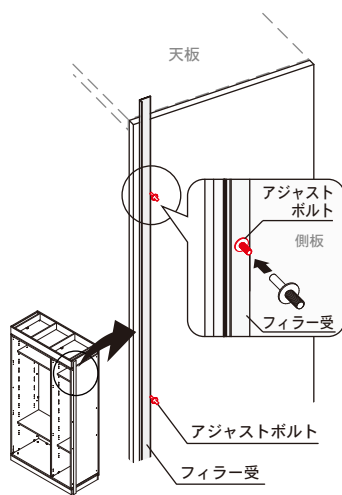


※図は説明のため、天板調整枠のない状態を表示しています。

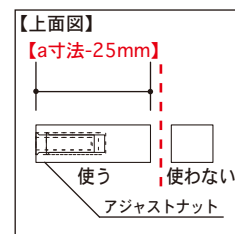
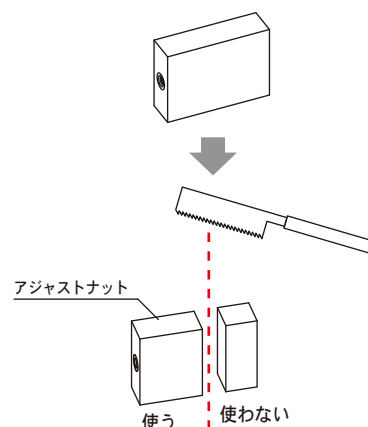


⚠ a=45~100mmの範囲外の場合、側板調整枠Sの取り付けはできません。

③フィラー受を間に通して、アジャストボルトを側板に取り付けます。



④アジャストナットを【a寸法-25mm】の幅にカットします。(ナットが入っている側を使用します)



⑤ カットしたアジャストナット(④)をアジャストボルトに取り付けます。 【上面図】 側板 壁面 アジャストボルト アジャストナット	⑥ 側板調整枠Sの溝にアジャストナットが沿うようにして、側板調整枠Sを壁面側から差し込みます。 厚みが10mm以上の回り縁、巾木がある場合、側板調整枠Sを事前に切り欠いておきます。 側板調整枠S 【上面図】 側板 壁面 側板調整枠S	⑦ 側板内側からドライバーを使い、アジャストボルトを左に回して、側板調整枠Sと壁面の隙間が無くなるように押さえつけます。 電動ドライバーは使用不可 ※破損のおそれあり 【上面図】 側板 壁面 左に回す
⑧ フィラー材Sを【a寸法-15mm】の巾にカットします。 【上面図】 【a寸法-15mm】 使う 使わない フィラー材S	⑨ フィラー材Sをフィラー受と側板調整枠Sに沿わせ取り付けます。(側板調整枠Sに付いている両面テープを使ってフィラー材Sを固定します) この時、壁側のクッション材が正面から見えるようにフィラー材Sを取り付けます。 【上面図】 側板 壁面 両面テープ フィラー材S	⑩ フィラー受にフィラーキャップをはめ込み、フィラー材Sを完全に固定し、完成です。 完成 【上面図】 側板 壁面 巾木

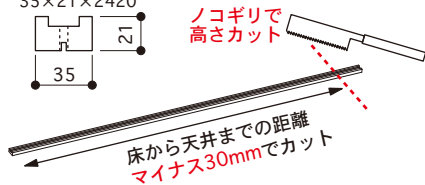
側板調整枠Mの取り付け

必要工具：ノコギリ、カッター、プラスドライバー、スパナ

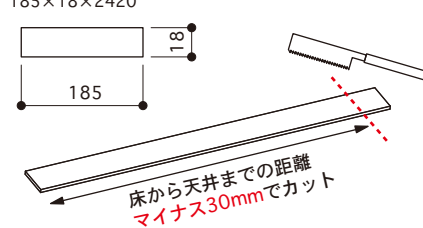
①それぞれの部材を天井の高さにあわせてカットします。

※床から天井までの高さが2450mm以下の場合のみ、上側をカットします。

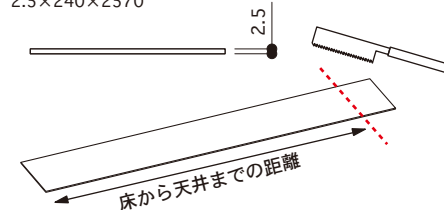
側板調整枠M 1
35×21×2420



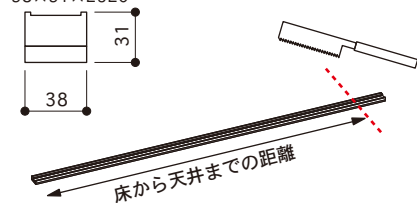
側板調整枠M 4
185×18×2420



フィラー材M
2.5×240×2570



側板調整枠M 2
38×31×2520



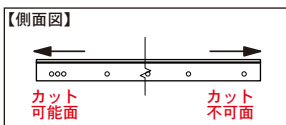
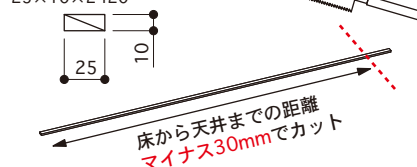
フィラー受
12.5×34×2450



フィラーキャップ
5×15×2520

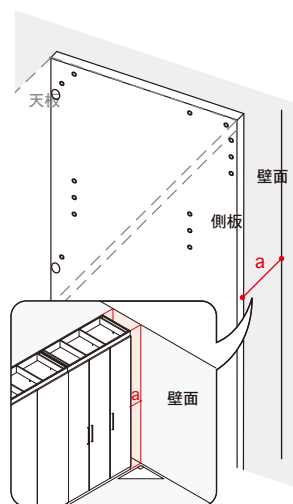


側板調整枠M 3
25×10×2420

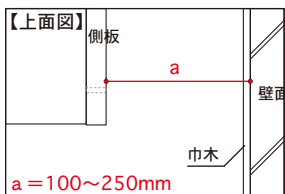


⚠ フィラー受は上下左右確認の上、カットしてください。

②側板から壁面までの距離(a)を測ります。



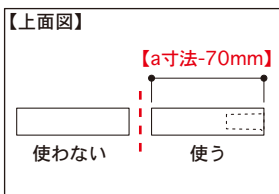
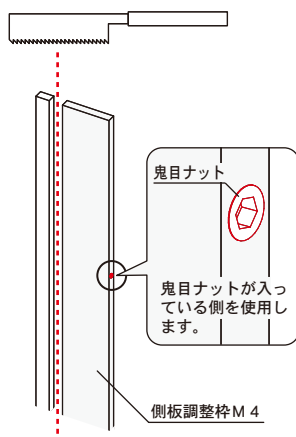
※図は説明のため、天板調整枠のない状態を表示しています。



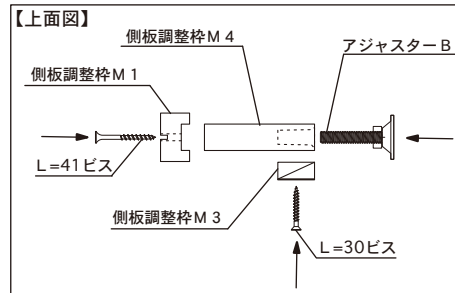
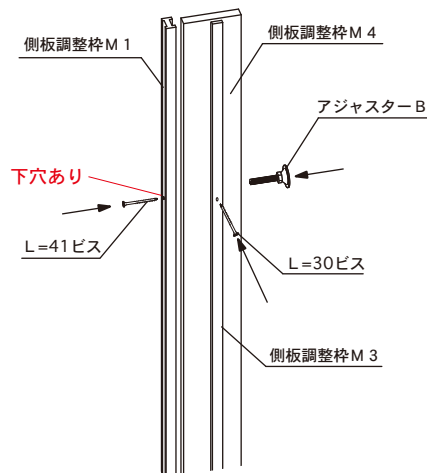
⚠ a=100~250mmの範囲外の場合、側板調整枠Mの取り付けはできません。

a=100~250mm

③側板調整枠M 4を【a寸法-70mm】の巾にカットします。(鬼目ナットが入っている側を使用します。)

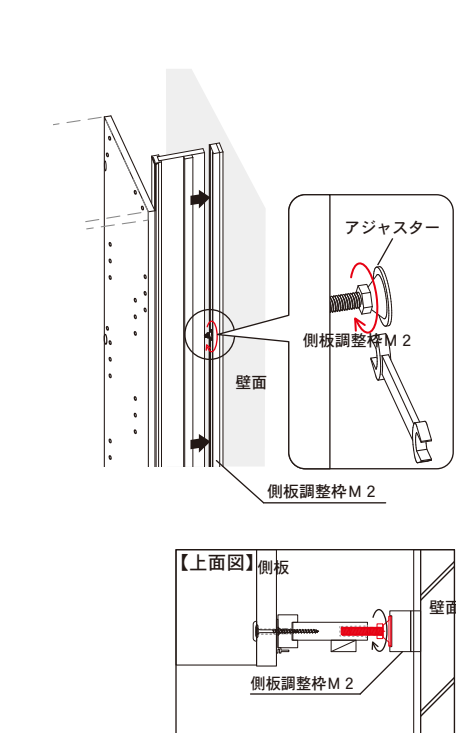
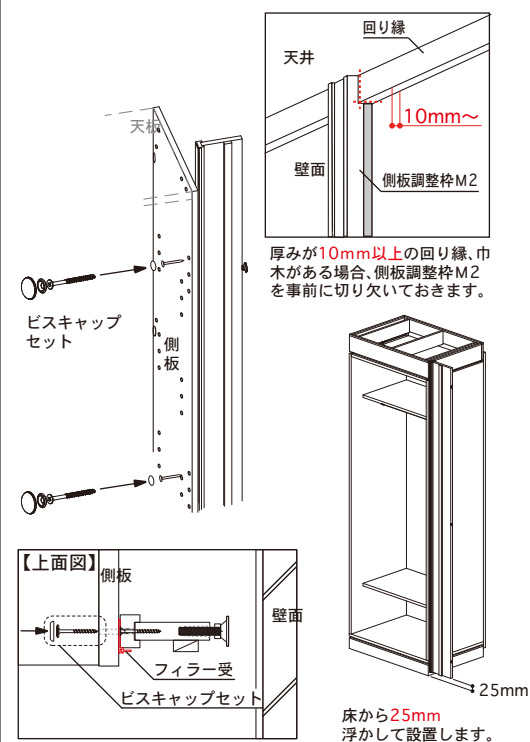


④側板調整枠M 4に、側板調整枠M 1・側板調整枠M 3・アジャスターBを取り付けます。



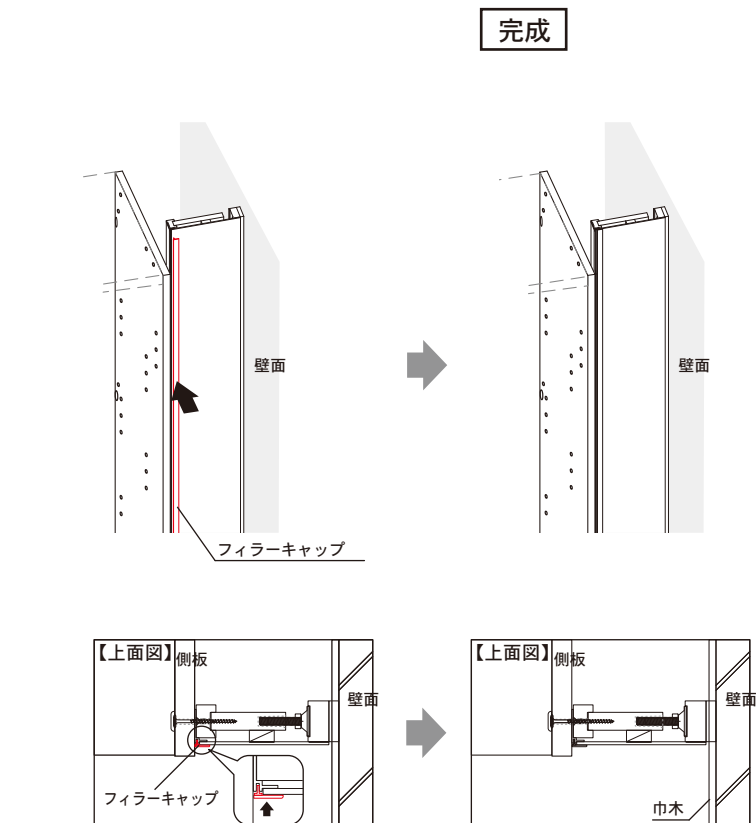
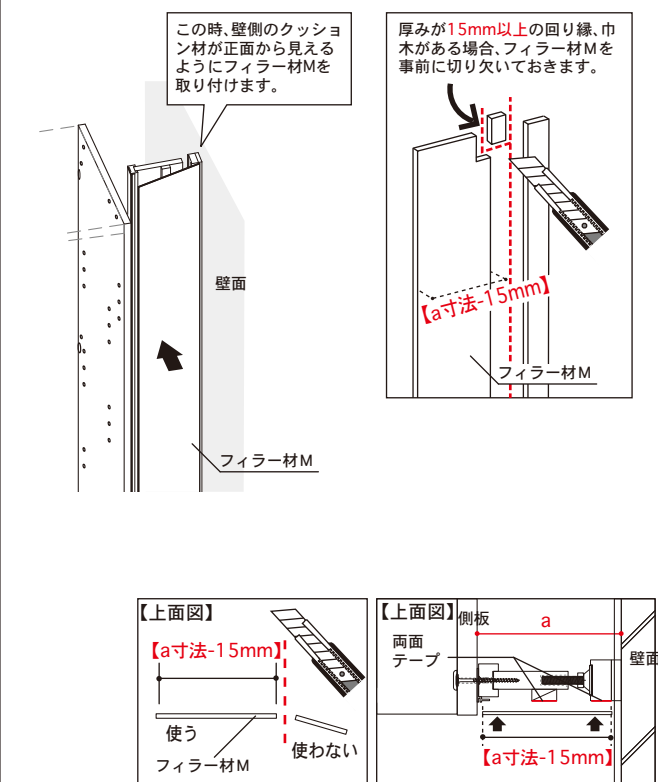
⑤ ④で組み立てた側板調整枠と側板の間にフィラー受を挟み、側板内部から付属のビス(L=41)で固定し、ビスキャップを取り付けます。

⑥ 側板調整枠M 2を壁面につけ、アジャスターを回し、壁面と密着させます。



⑦ フィラー材Mを現場の寸法にあわせて【a寸法-15mm】カットします。取り付けた側板調整枠の両面テープの離型紙をはがし、フィラー材Mを貼り付けます。

⑧ フィラー受にフィラーキャップをはめ込み、フィラー材Mを完全に固定し、完成です。

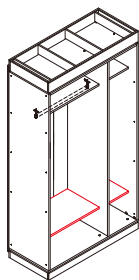


オプション品の取り付け

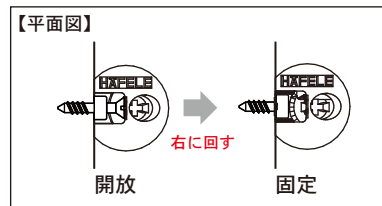
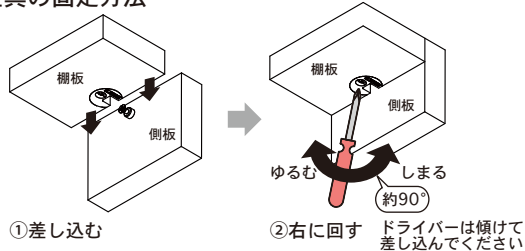
■固定棚板の位置を変える ■固定棚板の追加

必要工具: スケール、ノコギリ、木工用ボンド(酢酸ビニール系接着剤)、プラスドライバー

固定棚板を取り付けたい位置にジョイント金具で取り付けた後、棚板をのせ、金具を固定します。



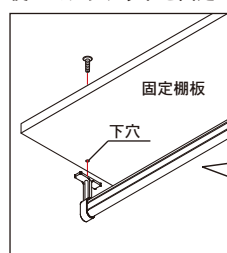
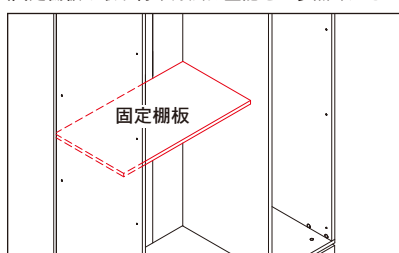
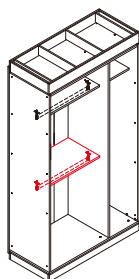
※金具の固定方法



■ハンガーパイプ付棚板の追加

固定棚板を取り付けます。
(固定棚板の取り付け方法は上記をご参照ください)

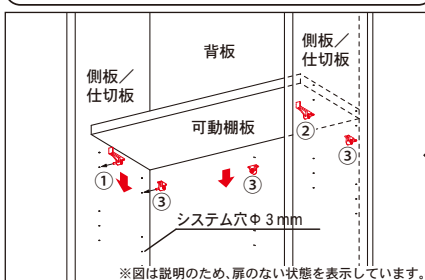
ハンガーパイプを棚板上部からボルトを使ってブラケットを固定し取り付けます。



■可動棚板を追加

可動棚板を設置したい箇所のシステム穴にそれぞれ棚ダボを差し込み、上から棚板を置きます。

⚠ 可動棚板を取り付ける際、必ず固定棚板を上下2箇所を設置してください。固定棚板がない状態で可動棚板を設置すると、製品の強度が弱くなる可能性があります。



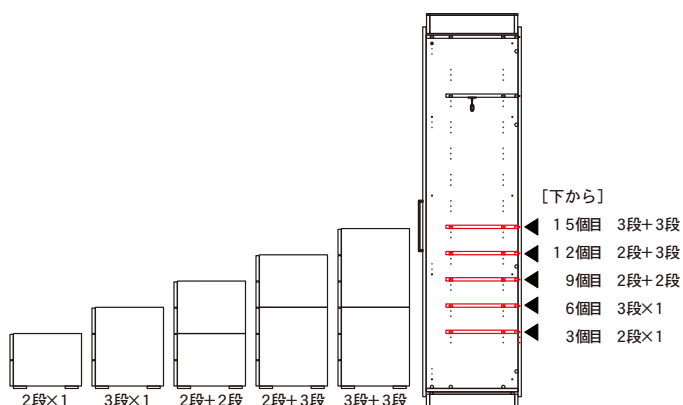
名称・寸法		入数
棚板		
3R W758×D440×T20		1
4.5RⓈ W802×D440×T20		
4.5RⓈ W387×D440×T20		
6R W822×D440×T20		
棚ダボ前左	①	1
棚ダボ前右	②	1
棚ダボ後	③	3

■引出し2段の追加 ■引出し3段の追加

名称・寸法		入数
引出し2段 W758×D435×H335 W802×D435×H335 W822×D435×H335	引出し3段 W758×D435×H490 W802×D435×H490 W822×D435×H490	1
フィラー材取付金具オスセット		4
フィラー材取付金具メスセット		4

固定棚板の取り付け
高さ参考例

設置する引出しの高さにあわせて固定棚板を取り付けます。



①固定棚板の取り付け

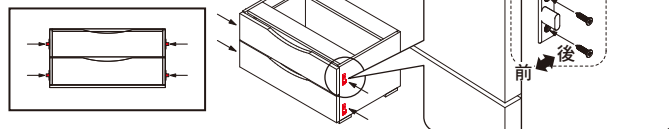
P17の固定棚板取り付け高さ参考例を参考に、固定棚板を取り付けます。

②金具の取り付け

■フィラー材取付金具オスセット

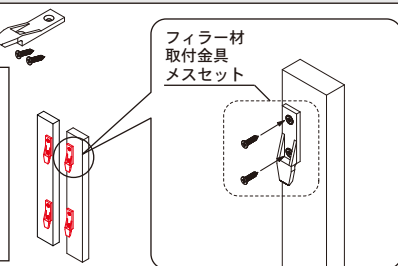
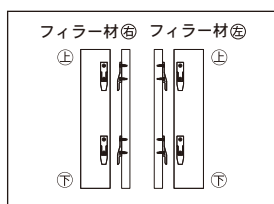
※引出しに取り付け

⚠ フィラー材取付金具オスセット取り付けの際、前後の向きにご注意ください。



■フィラー材取付金具メスセット

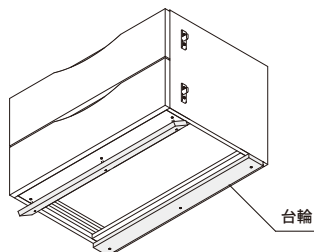
※フィラー材に取り付け



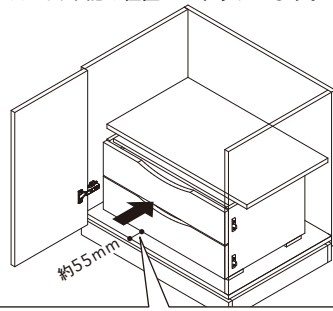
③引出しセットの取り付け

(1)ボックスの下面に台輪を木ダボで取り付けます。(木ダボ3箇所/台輪1本)

⚠ 木ダボは梱包段階で取り付け済みですが、施工現場で一度取り外し、接着剤を塗布してから取り付けてください。また、接着剤のはみ出しにご注意ください。

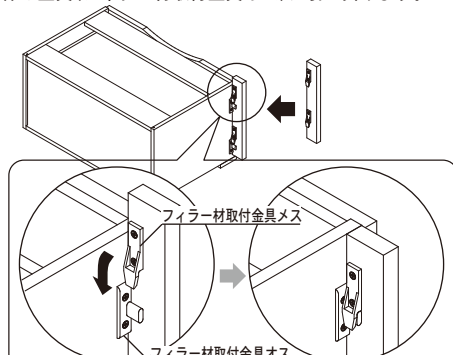


(2)引出しセットを押し込みます。フィラー材取り付けのため、下記の位置でストップします。



引出しセットと本体扉側の間に55mm程の隙間ができる位置でストップし、奥まで押し込まないようにします。

(3)フィラー材裏面の金具(フィラー材取付金具メス)をボックス本体の金具(フィラー材取付金具オス)に引っ掛けます。



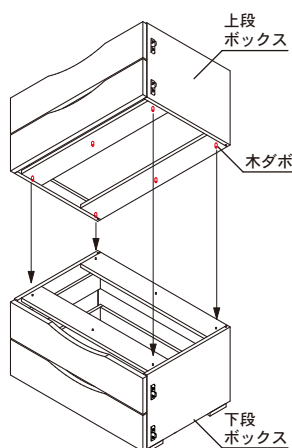
④ボックスを積み重ねる場合 (④は③の応用となりますので施工前に上記"③引出しセットの取り付け"をお読みください)

(1)ボックスを連結します。

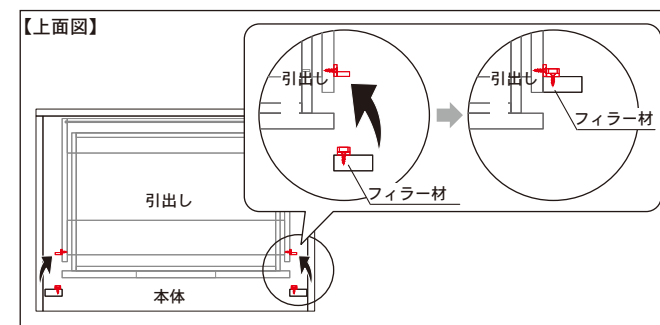
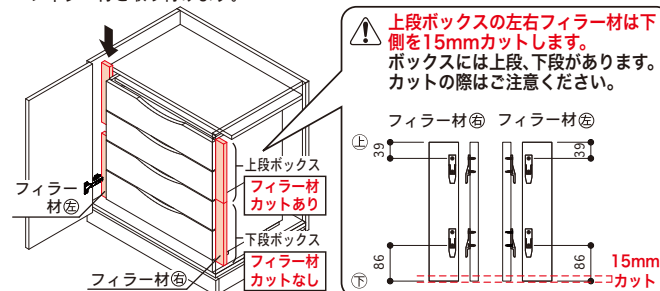
下段ボックスの下面に台輪を取り付けます。
※上段ボックスには取り付けません。

上段になるボックスの下面の木ダボと、下段のボックス上面のダボ穴を連結します。

⚠ 木ダボは梱包段階で取り付け済みですが、施工現場で一度取り外し、接着剤を塗布してから取り付けてください。また、接着剤のはみ出しにご注意ください。

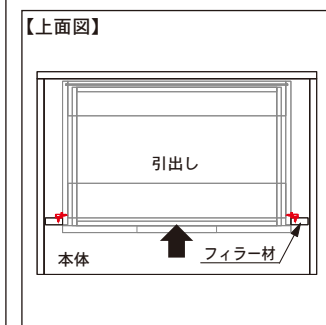
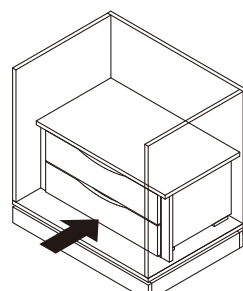


(2)上段ボックスへ取り付けするフィラー材をカットした後、上段、下段ボックスの左右にフィラー材を取り付けます。



⑤引出しを押し込む

引出しセットを押し込んで完成です。



引出しの付け外し

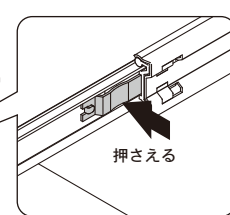
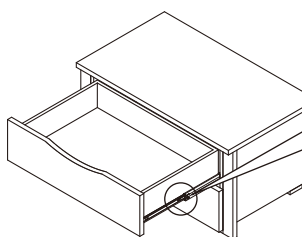
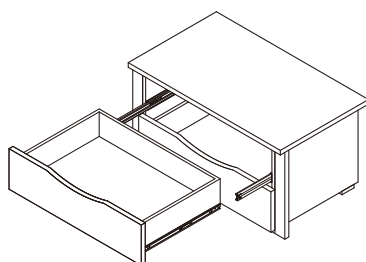
※施工の過程で引出しを取り外す必要はありません。

□引出しの取り外し

透明の樹脂製パーツを指で内側に押さえながら引き出します。

□引出しの取り付け

レールの位置を合わせ、カチッと音がするまで押し込みます。





南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10
TEL 087-825-3655 FAX 087-825-3641
<http://www.nankaiplywood.co.jp>